

『新しい時代へ』

通所支援事業 管理課長 吉田 丈夫

平成30年度は、我が法人にとり大切な節目である法人設立30周年の年を迎え、年明けの1月26日には「法人設立三十周年記念式典」を関係機関の方々を多数お招きし、ふたかみ文化センターに於きまして盛大に開催させて頂きました。

昭和63年に開設した我が法人の歴史は平成とともに歩みを進め、入所施設としてスタートした福祉事業も福祉制度の変遷とともに様々な事業を展開し、今では4拠点18事業にまで増えました。

その18事業のうち私が統括管理をさせて頂いている事業は、成人の方を対象とした日中活動支援の事業であります。大きく分けて「働くことをテーマにした就労活動支援」と「生きがいや健康管理をテーマにした日中活動支援」となっており、3つの拠点で支援サービスを展開しています。「令和」元年となる今年度の方針は、これまで行なってきた活動の見直し、課題の改善を実行して、新しい時代にマッチした福祉事業体になりたいと考えております。課題改善の為に、現状を細密に分析し、しっかりとした改善目標を計画し実行して行く事が大切であると考え、現場スタッフとの情報共有や対話を実施してまいります。

「令和」の言葉の意味合いには「これまでの歴史や文化を次の時代に引き継ぎ、明日への希望が持てる社会を実現していきたい」との思いが込められているようですが、今後益々多様化・複雑化する福祉ニーズや地域ニーズに応えていくため社会福祉法人としての存在意義を明確にし、ご利用者や地域の方々との信頼関係を築き、以和貴会の新たな歴史を作って参ります。

最後に「令和」という新しい時代に以和貴会に関係する地域の方々やご利用者・職員の皆様と共に寄り添える事業所となれるよう、気持ちを新たに精進して参りますので、ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



事業紹介～通所支援事業～



今回は、通所支援事業（今人・我楽・すみれの里）の、様々な活動や行事などをピックアップしご紹介させていただきます。

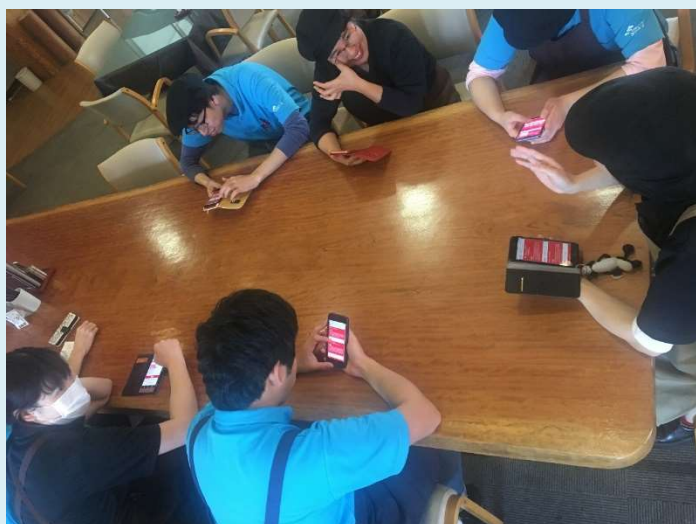
■奈良県知的障害者福祉協会主催『合同レクリエーション』参加！

平成 31 年 3 月 2 日（土）桜井市芝運動公園体育館にて、奈良県知的障害者施設協会主催の合同レクリエーションに「以和貴会 今人・我楽・すみれの里」チームで参加しました。私達のチームは、他施設と合同で白チームとして、徒競走・あの人を探せ（借り物競争の人バージョン）、エビカニックス（体操）、玉入れ、綱引き、リレー等の様々な競技に参加しました。徒競走では、一心不乱にゴールに向かって全力で走り抜けました。団体競争では、ご利用者・スタッフ・他施設の方々と力と合わせて、玉入れや綱引き・リレーに参加しました。まだまだ寒い気候でしたが、思う存分体を動かして楽しむことが出来ました。



■ふれあいキッチンSORA「生涯学習について」

SORA ではご利用者の皆様とスタッフが一緒に学習会を行っています。内容はその時にお伝えしたいことや接客用語、衛生管理についてなどです。3 月に行った学習会では、東日本大震災の発生から 8 年となる 3 月 11 日、いつか起こりうる災害時に役立つ知識を身に付けてほしいという思いをもって、全員で YAHOO! JAPAN「第 2 回全国統一防災模試」を受けました。スマートフォンの特性を活かした全 25 問の設問を通じて防災知識の習得ができ、防災模試を受けると、点数だけでなく自分自身の「能力チャート」や「タイプ」が分かります。



ご利用者の方にも簡単な操作で分かりやすく、自分のスマートフォンを使って全員で防災に対する知識を楽しみながら確認できました。間違った問題についてはなぜこうなのか？を理解していただけるよう説明を加えると、知らなかった！とメモを取られたり、防災模試を受けていない方にクイズを出したりされていて、みんなの知識が増えたように感じます。知識としては知っているつもりでも防災の備えを考えるとまだまだ不十分だと実感しました。みんなの知識が増え、いざという時少しでも役に立ってほしいと思います。SORA では、このような学習の機会を空いた時間に取り入れる支援を今後も継続していきたいと思っています。

■「エントランスセレモニー」開催！

やわらかな春風を頬に感じ、心華やぐ4月6日（土）に平成31年度の入所式を開催いたしました。今年度は「入所式」という名前を「エントランスセレモニー」と名称変更させて頂き、できるだけ堅苦しくならず、和らいだ式典にしていきたいという思いで、「式典」と「懇親会」の二部構成にさせて頂きました。

懇親会では新しいご利用者と歓迎する側の先輩ご利用者・職員が親睦を深めることができる時間を設け、先輩ご利用者の司会のもと、自己紹介をゆっくりと行ったり、コーラス鑑賞・音楽に合わせて一緒に身体を動かしたりと趣向を凝らしながら、新しいご利用者の歓迎と節目となる行事の時間を共有させて頂くことができました。ご利用者の皆様が毎日の活動を通して、素晴らしい時間を過ごせるよう職員一同、力を合せて支援をさせていただきます。



■ナチュラルカフェモンステラ「ベリーブルアパートフレンチ」が全国4位に選出！

2019年2月20日～23日、幕張メッセにて開催された「MOBAC SHOW 2019」において、当法人が運営する natural café monstera のパン「ベリーブルアパートフレンチ」が、「なくてはならないパン 120選」（タナカフーズ様 出展「Tanaka Foods Fair in MOBAC SHOW 2019」内）に選出され、その中でも、お問い合わせ数・全国第4位に輝きました。「ベリーブルアパートフレンチ」は、いちご風味のクリームと甘酸っぱいベリーの相性が抜群、ちぎってみんなでシェアもできるご褒美フレンチトーストです。

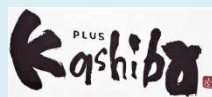


「MOBAC SHOW 2019」は、製パン製菓産業に必要なあらゆる機械・設備・器具・原材料・資材等が一堂に公開されるビジネスショウとして、国内外から高い評価を受けており、4日間で来場者数 36,000 人以上に上りました。今回、タナカフーズ様が出展された「Tanaka Foods Fair in MOBAC SHOW 2019」では、「TSUNAGU 継承と進化」をテーマに様々な展示があり、商品について、数多くのお問い合わせを頂き、大好評でした。この機会に是非、monstera のパンをご賞味ください。

■スイーツファクトリーモンステラ「コメコチュイル」が『KASHIBA+』に認定！

スイーツファクトリーモンステラの「コメコチュイル」が、香芝市の将来を子どもたち（＝未来）を笑顔に（＝繁栄）するために、香芝市にある商品やサービスを、日本そして世界へ向けて発信していくことを目的として作られた、香芝ブランド『KASHIBA+』の認定を受けました。

今回の認定を受け、3月3日（日）に開催された“かしばのしごと展”内で、認定証を授与されました。



《平成 31 年（令和元年）度 法人方針》

『やる気、本気、以和気！』

社会福祉法人以和貴会は、法人設立 30 周年を迎えました。これまでは、前だけを向いて進んできました。その間、外向きの展開のみで、内面の整備が不十分であったことによる「歪み」が、法人が抱える大きな課題となりました。30 周年を良い機会と捉え、全スタッフが一丸（和）となり、再スタートを切れるよう、以下の計画を敢行します。

□法人理念の徹底的浸透

法人理念を再度浸透させ、全員が「以和貴会」設立及び命名の由来を理解し、相互補完・協調の姿勢で臨んで行く。

□業務の見直し

「働き方改革」を好機と捉え、業務改善を図り、職員が働きやすく、働き続けられる法人となる。

□法人行動宣言（行動指針）の再考と徹底

行動指針と支援指針の再構築を行い、カード化したものを各職員が携行することで法人理念と共に徹底する。

□組織の再編 管理職の意識改革

組織の再編とは、赤字事業の改善（人員配置等）を図ることであり、31 年度中に改善が見られない事業については、事業整理も視野に入れる。

□スタッフキャリアシステム 30 策定

「HAGUKUMI」「IWAKI STANDARD」の両プロジェクトを完遂することにより人を大切にし、人を育てられる事業体になる。

《平成 31 年（令和元年）度予算》

平成 31 年 3 月開催の理事会及び評議員会におきまして、平成 31 年（令和元年）度予算を承認いただきました。

社会福祉事業区分 資金収支予算書 (自)平成 31 年 4 月 1 日(至)令和 2 年 3 月 31 日

(単位:円)

勘定科目		予算額	備考
事業活動による収支	収入	就労支援事業収入	48,004,000
		障害福祉サービス等事業収入	773,936,000
		その他の収入	4,485,000
		事業活動収入計(1)	826,425,000
	支出	人件費支出	532,397,000
		事業費支出	89,449,500
		事務費支出	49,884,300
		就労支援事業支出	45,560,000
		その他の支出	5,168,000
		事業活動支出計(2)	722,458,800
	事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		103,966,200
施設整備等による収支	収入	施設整備等補助金収入	
		施設整備等寄附金収入	
		施設整備等収入計(4)	—
	支出	設備資金借入金元金償還支出	17,508,000
		固定資産取得支出	22,100,000
		ファイナンス・リース債務の返済支出	672,000
		施設整備等支出計(5)	40,280,000
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)		△40,280,000
その他の活動による収支	収入		
		その他の活動収入計(7)	
	支出	積立資産支出	50,400,000
		その他の活動支出計(8)	50,400,000
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)		△50,400,000
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)		13,286,200	

法人設立三十周年記念式典

実行委員長 中島 正寛

昭和 63 年 2 月、我々、社会福祉法人以和貴会は誕生しました。それから 30 年を経て、平成 31 年 1 月 26 日に『法人設立 30 周年記念式典』を執り行うことが出来ました。これもひとえに、皆様方のおかげと考えております。心より感謝申し上げます。

一口に 30 年と申しましても、山あり谷ありの 30 年であったと伺っております。実際問題として、創立に立ち会った職員は残っておらず、職員の入れ替わりが激しい時期もありました。私自身、入職して 8 年になりますが、その間もさまざまなことがありました。それでも法人の規模は、年々大きくなって行き、職員の数も増え、今では総勢約 160 名となり、県下に誇れる法人規模であると自負しております。また、入職した時に感じた働き甲斐のある仕事というイメージは今も抱いております。そんな中、昨年の 3 月に理事長より三十周年記念式典の実行委員長を仰せつかりました。そのような大役が果たして私に務まるものかと大いに悩みました。ですが、過去と未来を繋ぐ式典を開催することで、法人理念を再確認し、職員が自分の仕事に誇りを持ち、互いに助け合ってご利用者の生活を支援する意味を考える機会になればと思い引き受けさせていただきました。また、一人ひとりが身近な地域社会に根差していることを再確認し、更なる社会貢献意識の醸成を図れないものかとも考えました。

具体的には次のようなものです。

- ①以和貴会を支えてきた人たちへの感謝
- ②未来へ向けてのビジョンの共有と意識改革
- ③次なる周年へ向けたモチベーションチェンジ
- ④以和貴会の PR

式典自体は、多くの方々にご来場いただき、盛会のうちに終了することができました。そして、式典を通じて 職員の帰属意識の向上と、法人内のビジョンの共有ができたのではないかと感じました。また、基調講演を引き受けて下さった飛驒千光寺の天下住職のお話しは、職員それぞれの心に響き、それぞれの支援を見詰め直すものになったと思います。



飛驒千光寺 天下大圓住職

人を大切にし、時代の変化に合わせて その形態を変えていける柔軟性を持った以和貴会。元号も昭和を経て平成、平成から令和に変わります。政府は働き方改革を推し進め、世の中は これまで以上に目まぐるしく変化するでしょう。そんな中、我々、以和貴会は和を以て貴ぶの精神で、人として尊厳ある暮らしと、その人らしくその人なりの人生を支え続けていきます。

最後になりましたが、式典開催に向けて私を支え続けて下さった 副実行委員長の山林昭さん、残念ながら 3 月末で退職された松田加奈さんには、この場をお借りして心よりお礼申し上げます。



来賓挨拶 衆議院議員 高市早苗様



職員の集合写真

法人新ロゴマーク紹介



法人設立三十周年記念式典内での表彰の様子

永田 康二 様 応募作品

〈作者コンセプト〉

いわき「i」字型の人と人が手をつなげるところ「輪＝和」が成立しています。

太子縁の地元に根ざしたつながりの花が咲く姿勢をイメージしています。

法人設立より 30 周年を迎えるにあたり、法人の理念「人として尊厳ある暮らしと、その人らしくその人なりの人生を支え続ける」や、イメージ・活動内容についてご利用者及びそのご家族、職員、地域の皆様に親しみをもっていただくため、公募形式により法人の新ロゴマークを募集しました。

その結果、県内の方だけでなく、北は北海道から南は鹿児島まで多くの方よりご応募頂くことができました。ご応募頂いた作品より、法人の職員及び理事・評議員・監事を対象に選考を行い、「和をうまくキレイに表現できている」「人と人との繋がりを感じられるから」などの意見を受け、永田康二様よりご応募頂いた作品を、当法人の新ロゴマークに決定致しました。

新しいロゴマークは、平成 31 年 1 月 26 日に開催した『法人設立三十周年記念式典』内で発表し、ご応募頂いた永田様への感謝を込めて表彰式を執り行いました。

今回のロゴマーク公募にあたり、ご応募頂きましたたくさんの皆様には、この場を借りて厚くお礼申し上げます。

アート活動「アトリエ それいゆ」便り

絵画サークル・アトリエそれいゆ
岡橋 三起子



「アートを通して、皆さんが喜んで幸せになれるように」という思いから始めた“アトリエそれいゆ”も、今年で14年目を迎えることができました。これもひとえに皆さんの温かいご支援ご声援の賜物と、心より厚く御礼申し上げます。

今回は、アート活動の中で日々感じている事を書いてみたいと思います。“アトリエそれいゆ”の皆さんの作風は、全ての方の作品が個性的で、「似たような」ものはありません。また、それぞれのペースで制作している為、同じ作風を10年以上キープしている方もいれば、その時の状況で作風が変遷していく方もおられ、制作において作者自身が主体的に動いていけるように、また、可能な範囲で作品について自ら考えて制作できるように配慮しています。さらに、タイミングをみて制作中の作品の「良いところ」が伸びるよう声掛けをしています。「悪いところ」ではなく「良いところ」を積極的に伝えし、判ってもらえる事によって「これでいいんだ」という安心感と自信につながるようです。

作品の「きらっとした所」を見つけるには、支援者にも相応の「観る目」が必要になり、アートに対しての知識はもちろん、「作者の行為」そのものと「作品」をトータルで見て、作品に「日常」を感じ取れるかどうか重要になります。難しく聞こえるかもしれませんが、簡単に説明すると、作品と作者を取り巻く物事に、愛着を持てるかどうかキポイントになるのではないかと思います。

そのことが、“アトリエそれいゆ”を続けていく原動力になってきました。そして、伸びていく人の共通点として、「保護者さんが、作者や作品の1番のファン」であるということがあります。保護者さんの声援が、作者さんにとって何よりの励みになることは言うまでもありません。

「アートを通して皆さんを元気に。心豊かに。」をモットーに日々取り組んでおりますが、アートが作者さん自身を幸福にするだけでなく、周りの方々の心も豊かにするような、そんな活動になれば…という祈りにも似た心境でアートと向き合って、今まで夢中で走りぬいた感じです。その間、実に様々な素晴らしい経験をさせていただき、また、その経験は多くの実りをもたらしました。

その中でも一番大きな収穫は、“アトリエそれいゆ”のご利用者さんの成長でしょう。精神性の高い実りは、何物にも代えがたいものだと思います。人間は、日々成長していきます。それは、障害があってもなくても変わらない、普遍的なものだと思います。たとえ、その変化が微々たるもので、歩みの遅いものであったとしてもです。「障害のある人のアート活動」に携わる上で、一番大切な事は「支援者が待つ」ことだと聞いたことがあります。それは、理にかなっていると思います。「待つ」ということを実践してきて、アート以外でも「待つ」ということが、心のゆとりを生み、しいては支援に対しても新しいことを吸収する間・余白を生み出すと考えられます。

これからも、アート活動の魅力を余すところなく発信し、皆さんの幸福に繋がるような活動にしていく所存です。何卒よろしくお願いいたします。

アトリエそれいゆ
作品紹介



吉原成信さん「ほとけさま 3」



高嶋和江さん「にじいろ」



小山加尉さん「不思議な地図」



植田隆介さん「ドーナツ」



西谷光世さん「トトちゃん、王様！」



山口裕樹さん「夜光虫-noctiluca-」



唯吉茜さん「凧(なぎ)」

🍓 新 入 職 員 紹 介 🍓

ご利用者のために精いっぱい頑張ります
どうぞよろしくお願い致します



たけうち ゆうすけ
竹内 勇介 (2月12日入職)
ゆらくの里 正職員

他施設から転職して2月からお世話になっております、竹内です。働き始めて約三ヶ月、不甲斐ない自分に葛藤の日々です。まだまだ至らない私ですが、温かく見守って頂ければ幸いです。宜しくお願い致します。



ひよし こうしょう
日吉 洸翔 (4月1日入職)
ゆらくの里 正職員

ご利用者だけでなく、職員も働きやすい環境を一緒に作っていききたいと思います。ご迷惑をお掛けすることもあるかと思いますが、一日でも早く、お役に立てるよう努力していきます。



たにぐち ゆう
谷口 有羽 (4月1日入職)
ゆらくの里 正職員

4月よりゆらくの里で勤務させて頂いております。分からないことだらけで、ご迷惑をお掛けすると思いますが、笑顔で元気よく働きたいと思いますので、よろしくお願い致します。



きたうら あいり
北浦 愛里 (4月1日入職)
ゆらくの里 正職員

4月からゆらくの里で働かせて頂いている北浦です。様々なことを先輩職員の方から吸収して、日々努力していきたいと思います。よろしくお願い致します。



まつもと なな
松本 奈々 (4月1日入職)
ゆらくの里 正職員

4月よりゆらくの里で勤務させて頂いております。社会人1年目、「元気に明るく、笑顔を忘れずに」を心掛けていきたいと思っています。これからご利用者をはじめ、たくさんの方々との新しい出会いを楽しみにしております。よろしくお願い致します。



ひきた しほ
疋田 志保 (4月1日入職)
しえ〜く 正職員

4月より生活支援センターShakeで勤務させて頂いております。ご利用者・ご家族の気持ちに寄り添い、私に相談して良かったと言って頂けるように、一生懸命に取り組みたいと思っています。よろしくお願い致します。

《職員募集》

募集中!

当法人と一緒に仕事をして頂ける方を募集しています。興味のある方は、是非一度、就職説明会にご参加下さい。お待ちしております。詳しくは、下記のサイトよりご確認下さい。

法人ホームページ



マイナビ2020



B・CAL奈良



〔就職説明会情報〕

5月25日(土) 14時～16時
5月28日(火) 14時～16時
6月 8日(土) 14時～16時
6月15日(土) 14時～16時

会場：ポノビル4F天空
(奈良県香芝市磯壁1-1057-3)

申込：①マイナビ2020(新卒)

②電話(0745-51-7100 担当：西原まで)



《イベント告知》

『第6回 IWAKI 夏フェス』開催決定！

「IWAKI 夏フェス」の
Instagram始めました☆



夏の恒例行事となりました法人夏祭り「IWAKI 夏フェス」を下記の日程にて開催いたします。

第6回目の開催となる今年は、『音と踊りと地域の共鳴』をテーマに、香芝市行政の方々や地域の皆様のご協力を得ながら、地域の活性化に繋がるイベントにしていきたいと考えております。

また、日頃より当法人を支えて下さいます皆様への感謝の意を込めて、例年以上に楽しめるイベント内容となっております。皆様と共に更なる飛躍を目指し、地域共生社会の実現に向け、スタッフ一丸となり盛り上げて参ります。

皆様お誘い合わせの上、ご参加下さい！！

開催日時：令和元年7月14日（日）16時～20時

会 場：香芝市障がい者支援センター すみれの里
(香芝市逢坂1丁目509番地の1 Tel：0745-71-8011)

★臨時駐車場、送迎バス（近鉄下田駅⇔会場、近鉄下田駅⇔臨時駐車場）あり

模 擬 店：わたがし・台湾スノーアイス・ホットドッグ・ジュース・カレー・フランクフルト・ポテト・
焼きそば・唐揚げ・みたらし団子・あてもの・スパーボールすくい・ヨーヨー釣り 等

イベント：スペシャルゲスト 吉本芸人「ラニーノーズ」・和太鼓演奏・チアダンス・よさこい・
マジックショー・ダンス 等

ビ ン ゴ：PS4 やUSJ ペアチケット、折りたたみ自転車、JCB ギフト券、ファミコンクラシックミニなど
豪華景品が盛りだくさん！！

※イベントや模擬店の内容については、都合により変更となる場合があります。



★IWAKI 夏フェス ボランティア募集！！

「IWAKI 夏フェス」当日に、私たちと一緒にイベントを盛り上げて
頂ける方を募集しています！

是非、私たちと一緒に、楽しい夏の思い出を作りましょう★



《内 容》 ①イベント補助（模擬店やイベント運営補助）
②ご利用者補助（ご利用者の付き添いなど）
③写真撮影（カメラをお持ちの方）

《時 間》 当日、16時～20時（15時30分集合）

《募集人数》 20名

《謝 礼》 2,000円（一律）

《申込方法》

下記のいずれかにてお申込み下さい。

①専用サイトより申込

→ 右のQRコードよりアクセス



②電話にて申込

→ 0745-51-7100

（担当：中山、西原まで）

ぽこあぽこ 平成 30 年度寄付金報告

平成 30 年度もたくさんの方々から総額 596,000 円の寄付をいただきありがとうございました。皆様方の「支え」により以和貴会が運営できていることを実感します。30 年度に頂きました寄付金は、ゆらくの里の建て替え資金の一部、地域の方々との交流行事「IWAKI 夏フェス」及び「法人 30 周年行事」に使用させていただく予定であります。今後も法人は、コンプライアンスを強化し法人運営の透明化を図り、安全で安心な法人であり続けていきます。



「ふれあいキッチンSORA」 Instagram 始めました★

ふれあいキッチン SORA の Instagram ページを開設！
メニューや楽しいイベント、活動の様子などを、こちらで
掲載しています。是非一度、ご確認ください☆



《ありがとうございました》

多くの方よりご寄附いただきありがとうございました。皆様方からの寄付を施設整備等、有効に活用させていただき、ご利用者のために使用させていただきます。

《個人》

中筋廣次、増尾明広、牧村元嗣、池上治人、宇田孝子、戌亥幸秀、匿名希望 2 名

《業者ほか》

林硝子(株)、(株)ステップワン、(株)タクサン、(株)田原建設

(順不同・敬称略)

《賛助会員募集》

引き続き賛助会員を募集いたします。同封の振込用紙にて会費のお振込を是非お願い申し上げます。
寄付金控除を受けるための領収証をご希望の方は「通信欄」にてご連絡ください。

《編集後記》

新緑が目にあざやかな季節となりました。ついに「平成」も終わりを迎え、「令和」へと元号が変わりました。
以和貴会も 4 月から新体制となり、今年度の法人方針「やる気、本気、以和気」のもとに、更なる目標を胸に、職員一同、力を合わせて頑張ります。

発 行： 社会福祉法人 以和貴会
住 所： 〒639-0261
奈良県香芝市尼寺 6 1 6 番地
編集責任者：理事長 下村 卓司
M a i l： office@yuraku.or.jp
発 行 月： 令和元年 5 月